

分野別計画の見方

施策方針/関連SDGs/ 施策の目指す姿

施策方針と関連するSDGsを示しています。また、前期基本計画の5年間において、その施策方針が目指す姿と対応する基本事業を示しています。

基本事業

施策方針の中で実施する基本事業の内容について「主な課題」と、それに対応する「主な取組」を示しています。

2 健康・福祉

2035 目指す姿 **つながり、支え合い、笑顔で暮らせるまち**

施策方針
2-1 つながりで支える地域福祉

関連 SDGs
1 201 3 2010 10 2017 17 2017

施策の目指す姿
●多様な生き方や価値観を尊重しながら、人と人とのつながる幸せを感じられる地域をつくる。 [基本事業 (1)(2)]

(1) 必要な支援にアクセスできる仕組みの構築

主な課題	主な取組
① 子ども、障がい、高齢等の複合的な課題を抱える家庭に対し、分野を越えた切れ目のない相談体制の充実が必要です。	・担当保健師等が分野を問わず相談を受け止め、必要に応じて相談支援機関や関係部署へつなぐ「支援の入り口」としての役割を担います。
② 困難な状況にあっても支援を求めない人や、相談に来られない人がいるため、アウトリーチ支援の充実と、支援が届きやすい仕組みづくりが必要です。	・専門職や関係機関、地域とのつながりを活かし、潜在的な支援ニーズを抱える人に早期に気づき、支援します。
③ 市の取組や相談窓口の認知度が低く、必要な支援につながりにくいため、情報発信の強化と支援制度の周知が必要です。	・社会資源情報を検索できる「はつがいちつながるネット（はつネット）」の周知と活用促進を図ります。

(2) 地域のつながりと相談支援を一体的に進める仕組みの構築

主な課題	主な取組
① 地域福祉の担い手不足が一層深刻化すると見込まれるため、担い手の育成・確保が必要です。	・介護予防・生活支援員、市民後見人など、地域福祉の担い手の養成・育成に、福祉以外の分野とも連携して取り組みます。
② 多様な社会資源を活用するため、福祉以外の分野との連携を強化する必要があります。	・福祉以外の分野と連携・協働するための会議（相談支援ネットワーク会議）を開催し、地域課題の解決に向けて分野横断的に取り組みます。

2035(令和17)年度に目指す姿

その分野における2035(令和17)年度に目指す姿と状態を示しています。

- 個人の意思が尊重され、住み慣れた地域で支え合いながら安心して暮らしています。
- 市民が健康でいきいきと自立した生活ができています。

- 3 相談支援機関が連携して支援を進めるため、情報共有の仕組みを構築する必要があります。
 - ・チームによる支援を可能にするため、情報共有や役割分担などを目的とした会議（支援会議、重層的支援会議）を実施し、社会とのつながりづくりなどを支援します。
- 4 人とのつながりが希薄になり、孤独・孤立に陥りやすいため、地域のつながりを促進する必要があります。
 - ・生活支援コーディネーターや、はつかいちひきこもり支援ステーション「はつステ」と連携し、継続的な小地域での見守り活動を推進し、孤独・孤立の予防に努めます。
- 5 生活困窮者が地域で自立し、安定した生活を送れるよう、支援体制の整備が必要です。
 - ・生活困窮者の支援窓口である「はつかいち生活支援センター」を中心に、暮らしの支援、就労支援、社会参加のきっかけづくりに取り組みます。
- 6 生活困窮世帯で育った子どもが大人になってもその境遇から抜け出せない、「貧困の連鎖」を防ぐ必要があります。
 - ・生活困窮世帯の子ども及びその保護者に対し、個々の状況に応じた学習支援や生活支援に取り組みます。

施策の進捗状況を確認する指標

施策方針の進捗状況を確認・把握するための指標を示しています。

施策の進捗状況を確認する指標

指標名	現況値 【2025(令和7)年度】	目標値 【2035(令和17)年度】
1 困ったときに相談できる相談支援機関を知っている市民の割合	56.2%	60.0%

主な関連計画

- 地域福祉計画(重層的支援体制整備事業実施計画)

施策主管課室

健康福祉総務課

主な関係課室

- 地域振興課 ●地域共生社会推進室 ●健康推進課
- 生活福祉課 ●障害福祉課 ●子ども課 ●子育て応援室
- 高齢介護課 ●住宅政策課

主な関連計画/施策主管課室/主な関係課室

施策方針に関連する主な計画のほか、施策を推進する課室(施策主管課室)と、施策の推進に関連する課室(主な関係課室)を示しています。